



たかはしよしのぶ
高橋由信
(朋の会)

公立碓氷病院の改革について

改革プランについて

問 公立碓氷病院の改革プランは、目標達成できるのか。

答 平成30年度は、医師確保の目標14名のところ10名であり、目標である、整形外科医3名、小児科医1名が確保できず、平成32年度までの改革プラン達成は、難しい状況です。先のあり方検討委員会において、抜本的改革の検討をすべき、との意見が出されました。

問 抜本的改革とは、何か。

答 公立碓氷病院の再編ネットワーク化や、独立行政法人化等に向けた経営形態の見直しです。

問 議会は、地域医療対策特別委員会を設置して調査研究し、30年3月に、市長に要望書を提出した。主な内容は、公立碓氷病院への救急搬送率を12・8%から35%に引き上げること、目先の改革ではなく抜本的な改革を行うべきとの意見で、あり方検討

討委員会と考えが一致したが、考えは。

答 今まで医師の確保、経営改善等の努力をしてきましたが、一般会計からの繰入額が増大し、財政を圧迫しています。この様な状況では経営改善は困難であり、抜本的な改革に舵を切るときだと思っています。

問 いつまでに結論が出るのか。

答 あり方検討委員会、議会の意見を踏まえ、早急に結論を出していきます。



公立碓氷病院・救急車



さくらいきくえ
櫻井喜久江
(無所属)

市の特産品・タクシー券について

市の特産品について

問 市内で生産が盛んな野菜や加工品をブランド化し、販売する提案はどうか。

答 平成19年にJA碓氷安中が「上州ねぎ」を開発、ブランドねぎとしてPRや販売の拡大を推進しています。

問 菓子・物産・特産品等を「安中名物」として販売する点についての見解は。

答 贈答や土産として関心や購買意欲を高める効果があるため、高品質で特別感のある物産等を協議します。

タクシー券について

問 安中地域と松井田地域のタクシー券配布の相違点は。

答 交付対象年齢の差はバス路線数の違いなどによるもので、安中と松井田では公共交通の整備状況に違いがあり、合併時に事業実施要綱

を統一することができず現在まで暫定施行として運用しています。タクシー利用補助は公共交通が不便な高齢者の移動手段確保のための方策です。

問 申請方法が変更された理由は。

答 郵送での申請によって真に必要な方へ交付することができ、効率化や個人情報管理強化が実現できます。

問 タクシー券は1回につき500円券1枚の利用だが、2枚もしくは1000円にならないか。

答 様々な要望があり、公正・公平な提供を検討します。



上州ねぎのポスター